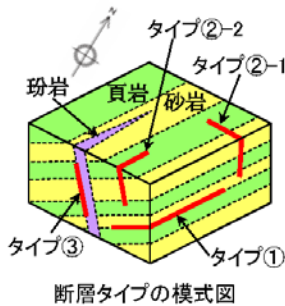


1.4 活動性評価対象断層の選定

○敷地内の断層を4つのタイプに区分し、タイプごとに活動性評価対象断層を選定し、断層の活動性を評価した。

活動性評価対象断層の選定フロー

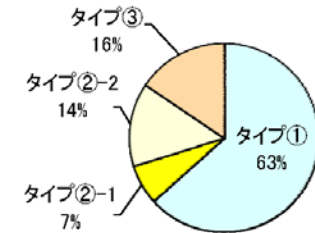


【断層タイプ区分】

・敷地内の断層を、以下の4つのタイプに区分。

断層タイプ	性状	本数※
①	佐世保層群の層理に沿う断層	102 (19)
②-1	佐世保層群の層理に斜交するNW走向の断層	11 (1)
②-2	佐世保層群の層理に斜交するNE走向の断層	23 (2)
③	佐世保層群に貫入した珩岩に沿う断層	25 (4)
		計) 161 (26)

※ ()内は敷地内において新たに確認された断層



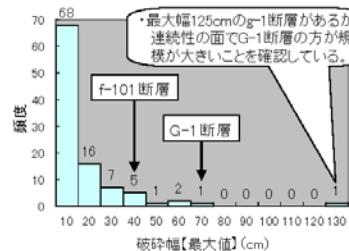
断層タイプごとの割合

【活動性評価対象断層の選定の基本方針】

・各タイプにおいて、破砕幅が大きく、連続性のある規模が大きい断層を選定。

タイプ①

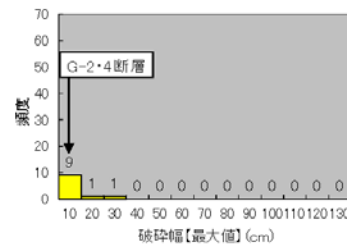
◆タイプ①の断層のうち、規模が大きい断層として、破砕幅が大きいG-1断層及び連続性のあるf-101断層を選定。



破砕幅(最大値)ヒストグラム【タイプ①】

タイプ②-1

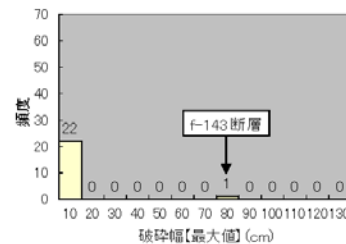
◆タイプ②-1の断層には規模が大きい断層は認められないため、基礎掘削面に出現する断層として、G-2・4断層を選定。



破砕幅(最大値)ヒストグラム【タイプ②-1】

タイプ②-2

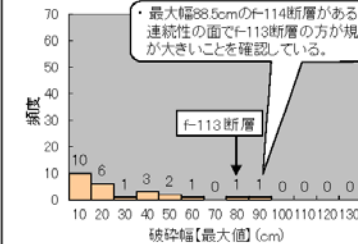
◆タイプ②-2の断層のうち、最も規模が大きい断層として、f-143断層を選定。



破砕幅(最大値)ヒストグラム【タイプ②-2】

タイプ③

◆タイプ③の断層のうち、規模が大きい断層として、f-113断層を選定。



破砕幅(最大値)ヒストグラム【タイプ③】

(注) タイプ①のf-101断層、タイプ②-2のf-143断層及びタイプ③のf-113断層の切り合い関係は、ボーリング調査によると、三つ巴と判断され、これらの断層の新旧関係は複雑である。したがって、敷地内の断層の活動性評価は、それぞれのタイプごとに実施した。

※ボーリングコア、試験坑及び基礎掘削面における破砕幅を基に、ヒストグラムを作成。

玄海原子力発電所の断層タイプ区分※3

※3: 第7回佐賀県原子力安全専門部会資料 7-2-2より

